

季刊誌 シーアイ 第84号 令和8年1月

2025年のイベント

☆陶芸（3月30日 愛知県陶磁美術館 陶芸館）

今年で22回目となりました。

去年は陶磁美術館のリニューアル工事の為、開催出来ませんでしたので、2年振りの開催となりました。久しぶりと言う事もあり今回も沢山の親子に参加して頂きました。年に1回のイベントなので、皆さん毎回初心に帰り熱心に指導員の方の説明を聞きながら思い思いに制作に励んでいらっしゃいました。リピーター親子・初参加親子共に同じ事に取り組む姿はとても微笑ましく、今回も世界に一つだけの力作が揃いました。



☆作品展（7月22日～27日 市民ギャラリー栄）



今年で28回目となります天乃寂 と “C&I” children vol.28 の今回のテーマは【雨あがる】でした。

上空を見上げますと青空を「今かいまかと…」待ちわびたててる坊主たち。

そして子供たちの天空の世界観にもご注目頂けたらと思います。また擬人化された人形の動きや表情と、更には雨水をたっぷりと吸った元気で可愛らしい花の妖精に魅了される事でしょう。

一般の方々の作品群の大半は、サクラクレパスを使用した物です。

大人のためのクレパス画教室を開講している事もありますが、初心者には描き易く玄人の方には多種多様な表現が出来る画材なので、とても魅力のある作品作りが出来ます。その他にも繊細で緻密な色鉛筆画や趣向を凝らした書画など60点余りの作品を展示しました。



コロナによる巣ごもり対策で始めた
『天乃寂大賞展』も今回で6回目となりました。
作品展会場の一角を借りて今年も大人・子供問わず
沢山の方々に参加して頂きました。
年々レベルが上がり、賞を選ぶのが難しくなっ
ています。好評につき、コロナ禍に関係なく今後も
続けていく予定です。

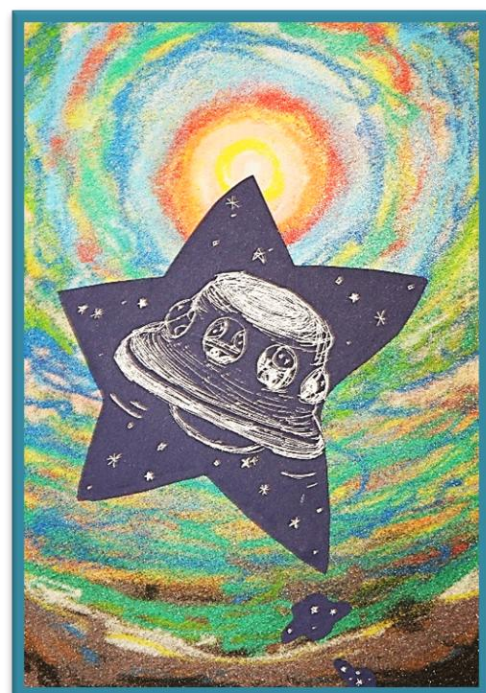


☆サマースクール（8月8日～10日 愛知県美浜少年自然の家）

今年で38回目を迎えました。
今回も昨年に引き続き、女子の参加者が男子の二倍強で
女子パワーが全開でした。
また、今回もOB・OGの皆さんが
インストラクターとして多数参加して下さい
全ての予定がスムーズに運びました。
今回の研修のテーマは「吹き出し」でした。
吹き出しは通常はセリフなどを表現するためのものが
多いですが、今回は文字を使わず絵で吹き出しを表し
砂絵キットと併用して幻想的な作品を作りました。

そして近年力を入れているのが、
グループ活動です。

それがCAT(コムプリヘンシブ・アート・タイム/包括的アート時間)です。



【砂絵】生徒作品



こちらのテーマは“海の宝”です。
毎回、男女混合・年齢もバラバラのグループでテーマに沿って協力して
劇を演じてもらいました。人前で演じる事の緊張感は計り知れない
ものが有ります。しかしその中で得たものはこれから成長する上で
大切な財産になる事と思います。
また、パフォーマンスのレベルが年々上がって行くのが嬉しいです。

開催当初から『普段教室で出来ない事』をモットーに様々な事に取り組んで参りました。
個人の作品を作る事以外にもグループで協力して舞台上でパフォーマンスを演じたり
運動会で力いっぱい走ったり海へ散策に出かけたりと、盛り沢山の活動をみんな揃って楽しく
やり切り無事終了出来ました。過去最高の猛暑の中で体調不良が出るかと思いきや、子供たちは
暑さをものともせず元気いっぱいでした。

☆クレヨン画展（11月8日・9日 豊田市民文化会館）

今年で12回目となります『天乃寂とクレヨン倶楽部』も「クレヨン倶楽部 Jr.」が加わってから年々パワーアップしています。御来場者の方々は子供たちの絵と工作で癒され、大人の方たちのクレヨン画のレベルの高さに毎回感動されています。今回は土日と言う事もあり、例年以上に多くの方々にご来場して頂き大変盛況でした。これからもより質の高い作品展が開催出来る様生徒の皆さんと共に頑張ります。



☆楠フェスタ（11月8日・9日 楠地区会館）

毎年恒例の楠フェスタに参加させて頂きました。



☆地区会館祭り（11月8日・9日 山田地区会館）

毎年恒例の地区会館祭りに参加させて頂きました。

☆コミセン祭り（11月16日 貴船コミュニティセンター）

昨年に引き続き、コミセン祭りに参加させて頂きました。



☆コミセン祭り（12月7日 鳥羽見コミュニティセンター）

昨年に引き続き、コミセン祭りに参加させて頂きました。



☆冬がっしゅく（12月6日・7日 愛知県旭高原少年自然の家）

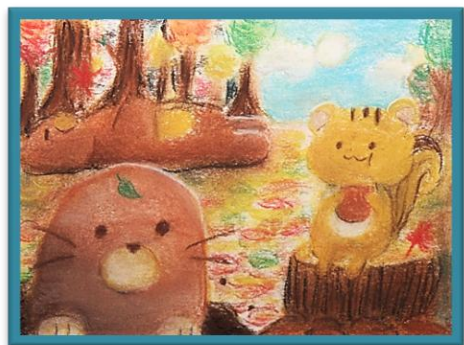
今回は“リスと森の仲間”というテーマで、作品を制作してもらいました。
 今回は最初に画用紙全体を白色のパステルで塗ってもらいました。下描きにも鉛筆を使わず、薄い色のパステルで描きました。そして、黒色はなるべく最後に使うと言う事を心掛けたので作品が汚れる事が少なく、とてもきれいに仕上がり可愛いリスや森の仲間が個性いっぱいに描かれた素敵な作品が沢山出来上がりました。

夜の花火も毎回子供達に人気で、焚火の周りでは歓声が上がっていました。

二日目の朝の散策も、去年は雪の中で震えながらの散策でしたが、今年は歩いている間に汗ばむほど晴天に恵まれ、長〜い滑り台を堪能していました。岐路に立ち寄った香嵐渓は例年よりも外国人が少ない印象でした。残念ながら紅葉はほとんど残っていませんでしたが、子供たちはお土産探しや美味しいものを食べ歩くのに忙しく、それぞれが思い思いに楽しんでいました。

帰りのバスの中はいつも通り出発直後から夢の中と言う子供達も多くいました。

とても充実した二日間でした。



研修生徒作品



一月の予定 ※1月は原則3回です。

- 朝日丘教室（木）は1日がお休みです。
- 楠教室（金）・山田教室（金）は2日がお休みです。
- 鳥羽見教室（土）・松原教室（土）は3日がお休みです。
- 志賀本通教室（月）・上名古屋教室（月）は5日がお休みです。
- 志賀本通教室（火）・末野原教室（火）は6日がお休みです。
- 亀島教室（水）・志段味教室（水）は7日がお休みです。
- 他の教室は通常通りです。

教室ホームページ

ファインシーアイ 🔍 検索



インスタグラム

zyaku.a 🔍 検索



新年を迎えスタッフより

箕浦 孝

明けましておめでとうございます！今年もどうぞよろしくお願い致します。

今年の干支にちなんで、少し馬の話をさせてもらいます。馬はとても賢い動物で、耳の向きで気分が分かったり、仲間と息を合わせて走るそうです。また、視野が広く、ほぼ1周見渡せる目を持っていると言われています。これは、周りをよく見て状況を感じ取りながら行動していると言う事でもあります。この特徴は、生徒たちの制作活動にもよく似ていると感じました。

去年は、たくさんの「できた！」の声に溢れた良い一年だったと思います。生徒たちは先生の話聞きながら、自分なりに感じた事を『時に迷い・時に脱線しながら』作品にしていきます。すぐに上手な作品が出来ない事が多々ありますが、その一つひとつが大切な「制作で出来た足跡」だと思います。

描いて作って失敗してまたやってみる。その積み重ねが、いつの日か大きな力になっていきます。去年より少し大胆に・少し自由に、そんな成長があちこちの教室で見られる一年になればと考えています。今年も楽しい教室を一緒に作っていきましょう。

H i r o m i

新年、明けましておめでとうございます。

2026年は元日から穏やかに晴れ、幸先の良いスタートとなりました。

さて、暮れにNHKの「ナンブンノイチ」と言う番組を観ていたら【1200分の1】という数字が出てきました。

これ、何のことかわかりますか？実は100歳以上のお年寄りの数なんです。日本の全人口の1200分の1が100歳以上だそうです。そして10年後には、170人に一人が100歳以上のお年寄りになるそうです。

それに引き換え出生率は1.15人で東京都などは0.96人となっているそうです。

そういう自分も既にお年寄りチームのようなものなので「如何にボケず、自分の足で歩き、自分で食事をとれるように！」

今からしっかり運動をして筋肉を付け、何でも美味しく食べて胃腸を鍛え、認知症予防に努めたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

主宰：天 乃 寂

Happy New Year. Thank you for your continued support this year. (Duolingoの成果です。)

今からお話しする事は、去年が巳年(へびどし)と言う訳では無いですが、ちょっぴりheavyなお話をさせて頂きます。私は、昨年末から我が家の庭の木と格闘をしておりました。高さ7m程の木です。幹の太さが直径で50cmはあります。それを高枝鋏とハンディ用電気ノコギリで、伐採を敢行しておりました。伐採は4日間掛かりました。

そして、この作業を通して様々な事が頭に過りました。「バチが当たったら嫌だなあ。」とか「かわいそうだなー」などです。

その中で強く感じたのは【共存】でした。

昨年も野生の熊がNEWSでよく取り上げられておりましたが、本当に難しい問題です。

飛躍しすぎた話かもしれませんが、アラブの紛争も同じ様な事の様に感じます。

紛争や争い事となると、日常のどこにでも起こっている出来事です。

受験や出世、はたまた更に飛躍して、肉や野菜を食する事も当てはまります。生命を維持するためにはどうしても避けられない問題だと思います。

以上の様な話は、どちらか一方が悪いと言う話では無く白黒を付け辛い事がエンドレスで面倒くさい話となる訳です。たかが我が家の庭の伐採からの話ですが、私にとってはある意味充実した時間を過ごせたように思います。

そして最後になりますが、今回の事で頭に浮かんだ言葉が「殺生」と「感謝」でした。